

サービスマーケティングを通して

活動先：NPO 法人 ふわり

クラス：村上 徹也 先生

1. サービスマーケティングを通して気づいたこと、学んだこと

サービスマーケティングを通して学んだことはたくさんあります。私は、始めのうちは地域福祉にあまり関心を持っていませんでした。しかしゼミでの活動を通していくうちにだんだん地域福祉に興味を持つようになりました。障害を持つ人もそうでないひとにも対等に暮らせる、当たり前前の生活を目指して活動している多くの団体を見てきて心を強く打たれました。また、バスツアーで自分が活動する場所以外も見学させていただき大変勉強になりました。どこの施設も最初は、活動する場所に困っていて古い民家を改装して施設として利用しているところが多いらしくかなり苦勞されたみたいでした。特にエンド・ゴールで若者ためのサポートステーションというのが資料だけだとよくわからなかったのですが、実際に話を聞いてみたりして素晴らしい活動なのだと感じました。就職相談所とは少し違ってみたくて人材育成や目標達成の相談や勉強会など広い分野で支援をしてもしているこういった分野の地域福祉の形があるのかと感じた。今までこのような施設があるとは知らなかったのでこのような施設を知るいい機会になりました。

私が実際に活動させていただいた NPO 法人は「ふわり」です。この NPO 法人は障害を持つ人もそうでない人も当たり前前の生活ができるように日々活動している NPO 法人です。私はその中の活動の一つの「ふわり」をより多くの人に知ってもらうための活動に参加させていただきました。内容としては地域の人々に「ふわり」のことを知ってもらえるために夏祭りのイベントに参加するというものでした。このような地域の祭りのイベントに参加したことは今までなかったので貴重な体験になりました。地域とのコミュニケーションはやはりとても大切なものなのだと思います。

また、活動のなかには全体のフォローという役割もあり周りに気を配りながら活動していくということは大変なことでした。しかし、その活動を通して少しは自分の中に責任感を植え付けることが出来たのではないかと思います。地域の人と関わることがこんなにやりがいのあることだとは思っていませんでしたので今までの地域福祉のイメージを一新しました。将来もこのように地域と関わっていく仕事に就くことが出来たらいいなと感じました。

2. 地域活動や社会課題について

私たちの活動内容としては三か所の地域の祭りに参加させていただきました。主に全体的見回り、出店の手伝いをしました。出店の種類は焼きとり、団子、射的、スーパーボール、ヨーヨー釣り、金魚すくい、飲み物、かき氷などがありました。どの地域でもたくさんの子供たちが遊びに来てくれて大変盛り上がりました。中には初めて店を出す地域もあったのですが多くの家族が来てくれて大盛況でした。初めのうちはどのように対処しているのかがあまり分からず混乱したりしてしまったりしました。段々と慣れてきて最後のほ

うは楽しみながら活動することが出来ました。一つのイベントを行うということはとても大変なことで多くの人の協力と支援が必要不可欠なのだと感じました。こういった活動を通していき「ふわり」のことを知っていただき理解してもらおうのだと思いました。このような活動が地域福祉の発展に繋がっていくのだと考えると地域の関わりは地域福祉の発展に大きく関わっているのだと思います。

しかしこのような地域福祉を活動としている NPO 法人も社会課題がないわけではありません。「ふわり」のように地域の活動を進めたくても NPO 法人自体を受け入れてもらえずに活動をさせてもらえない問題も多数あります。やはり、障害者に対する偏見が未だに抜けていないためなかなか活動が思うように出来ていないという現実があります。このような偏見を地域の人々からなくしてもらうために祭りなどの活動をしているのですがまだ偏見が抜けていない地域も多く時間が掛かりそうです。一日でも早く障害者に対する偏見を取り除いてもらうために、このような活動が必要なのだと改めて感じました。NPO が多く存在している知多半島でさえこのような問題が存在しているということは他県ではそれ以上に活動が困難なのではないかと思います。その障害者に対する考え方を取り除いてもらうために地域での講演活動やイベントが今以上に必要なのではと思いました。もし、このようなイベントが地域で開催されるとしたら地域の人簿とも積極的に参加していただきたいと思います。住民側も動かないと現状から変わるの難しいと思います。つまり、理解しようという考えが大切なのではないかと考えました。これが NPO 法人と地域住民が理解し合う第一歩だと思います。